

溶鋳炉爆発！ 大阪 - 西日本防災システム

2013 04 09

4月9日午前10時55分頃、堺市堺区匠町の銅製品メーカー「日本伸銅」の本社工場で「溶解炉が爆発した」と110番がありました。工場内で火災が発生し、同社社員(37)が全身やけどを負い、搬送先の病院でお亡くなりになりました。

ほかに社員3人が搬送され、男性(53)が重傷。61歳と41歳の男性は軽傷のようです。4人はいずれも炉の周辺で作業していたそうです。

堺署によりますと、症状の軽い2人の証言として「どーんという音が聞こえたので振り返ったら火柱と黒煙が炉から上がっていた」 炉から高温で液状になった金属が何らかの原因で飛び散り、近くで作業中だった社員らがやけどを負った可能性があり、堺署は業務上過失致死傷の疑いもあるとみて詳しい状況を調べています。堺市消防局によりますと、現場は鉄骨平屋の作業場で、溶解炉1基や天井約30㎡を焼き、発生から4時間以上たった午後3時15分頃鎮火しました。

炉は直径約1メートル、高さ約2メートルの円筒形です。工場内に設置された5つのうちの1つで、当時亜鉛と銅を1,000度以上の高熱で溶かし、合金を造っていたようです。この工場では伸銅品や黄銅棒を製造しているようです。

堺労働基準監督署は、職員ら約10人を工場に派遣し、労働安全衛生法違反に当たるかどうか調査しているそうです。

現場は南海本線堺駅の北西約2.5キロの臨海工場地帯の一角で、一時従業員約120人が建物の外に避難するなど騒然としたようです。

原因は何なのでしょう？



映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

